

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 せいわのわ 清和幼稚園

1. 本園の教育目標

- 人として自立した生活を営むために、生活リズムと基本的な生活習慣を身につける
- 体を目一杯使って活動することを通して、体力や気力を養う
- 他人の気持ちや考えを大切にす心や態度を養う
- 日本の伝統的な作法の基礎を学ぶ
- 他の生物の命を頂くことによって、自分の命が維持されていることに感謝する心を養う
- 他人とのよい関係を築いていくために、豊かな言葉を身につける
- 自然事象や美しいものに触れる中で、五感を磨く
- 美しいものや感動したものを表現しようとする意欲を養う

2. 本年度重点目標・計画

- 子どもたちと職員が主体的に様々な物事に関り取り組もうとする園を目指し、カリキュラム・マネジメントを見直します。
- 職員一人一人が話しやすい保育カンファレンス（エピソード記録会）を開催し、職員の乳幼児教育における見方・考え方についての理解を深めていきます。
 - 保育に活かせる週案を作成していきます。
 - 保護者に日々の保育や行事等の満足度の把握をし、保育や次年度の行事に対して活かしていきます。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況	評価
1	エピソード記録会の更なる充実	<p>月に1～2回のエピソード記録会で乳幼児教育における見方・考え方についての理解を深めているところである。8月より新しいカンファレンス用紙を使つてのエピソード記録会を行うようになり、話し合いが以前より充実したものとなってきている。カンファレンスに対しての職員の姿勢も前向きになり学びのある時間となっている。</p> <p>下記の成果がうかがえる。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 職員の自信に繋がっている○ 乳児・幼児クラスの交流が増えた	A

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員同士が助け合ったり高め合ったりする存在になった ○ 保育に対する意識が高まった ○ 週案の子どもの姿がより詳しくなった ○ 職員が同じ視点を持って保育に臨めるようになってきた ○ 援助や環境構成の変化 <p>このような成果も出ている為、今後も無理のない程度で継続していきたい。</p>	
2	週案の作成の質的向上	<p>カリキュラム・マネジメント研究者にアドバイスをいただき、今までの蓄積データや紹介された文献等を参考に週案の作成に取り組んだことにより、より実用的な週案の作成が出来るようになりつつある。それと共に保育の充実もうかがえる。</p> <p>更に実用的な週案にする為に、同研究者に助言いただき今までの週案をベースに書式の改善を担当と主任で集まり行った。実際に作成し使用していく中で同研究者に指導していただきながら改善していこうとしているところである。</p>	C
3	学校評価への保護者の更なる反映	<p>園の保育、環境、ニーズ等について、また行事ごとにアンケートを行い職員間で共有し保育や行事に活かすようにしている。特に保育については早々に共有を行い改善に努めているところである。行事については日頃の保育や次年度へ反映できるようにしていこうとしているところである。</p>	A

評価の基準 (A：十分達成されている B：達成されている C：取り組まれているが、成果が十分でない D：取り組みが不十分である)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題に対して、日々試行錯誤しながら取り組んできた。個人差があることは否めないが、昨年度よりも成果が出て、職員の前向きさが強まり、保育に対する意識も高まり、共通理解も更に進んでいる。 ○ 子どもたちだけでなく職員が主体的に取り組もうとする姿に、昨年度よりも向上が見られている。 ○ 週案に関しては取り組み途中であり、今後更に実践に繋がるものにしていき PDCA サイクルを回していきたいところである。 ○ 今後も無理のない程度で取り組みを進めていき、園として発展していきたい。

5. 次に取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み内容
週案の作成の資質向上	○ より実践に繋がる週案の作成をしていく。
0～5歳児の繋がりある保育	○ 職員会やエピソード記録会の中で他の学年の子どもの姿を知る。 ○ 0～5歳児の発達の流れを知り指導計画に反映していく。
地域との関わりを深める	○ 高知市社会福祉協議会と連携し、定期的に地域との関わりが持てるようにする。

6. 学校関係者の評価

【清和幼稚園 保護者】

ある程度の集団（5人以上）の中には職員が入り、トラブルを未然に防ぐような動きが見えました。園児は様々な遊びを行っていたが、皆思い思いに過ごしているようでした。園児も職員も表情が良かったです。

週案はここまで細かく設定されているとは思っていませんでした。感謝致します。一保護者としては大満足しております。

【学校法人 森本学園 理事長】

自己評価については適正な評価をしていると思います。

各部屋で1日の流れをホワイトボードの記載していてわかりやすいと思いました。

朝の好きな遊びの時間においては安全性に配慮してしっかりとした環境構成となっていました。また園庭では大人数で遊んでいるが衝突事故がなく遊べていて関心しました。

現状維持をせず、更なる教育・保育の質向上に取り組んでいただきたい。

【高知市立小高坂小学校 教頭】

子どもたちの意欲・主体性を育てる保育が実践されていて素晴らしいと思います。先生方の表情が柔らかく、安心できる環境となっていると感じます。

子どもの「やりたい」「できた！」を支える先生方の準備・共通認識に小学校教員側も多くの学びがあります。

子どもたちの遊びの中に、自主的に約束事や他者を大切にする姿が見られました。この育ちを、小学校側も大切にしていきたいと思います。

週案の内容も1人1人の子どもの意欲を育てながら、成長を見守る手立てが丁寧に書かれていて素晴らしいと思います。

【会社経営者】

0～5歳児まで教育目標を週案に落とし込んでいて、細部に至るまで週案を作り込んでいる印象を受けました。評価ではCになっているがもっといい評価にしても良いと思う。

職員がいきいきと保育に向き合っている姿に感動しました。園児の数人に声を掛けたが、園の楽しさや良さを細かく話してくれて驚き、素直に園が好きなことが伝わってきました。

園庭の広さに対して人数が多いように思うので室内施設の空きスペースを運動に使うなどあっても良いのではと思いました。

【国立大学法人 岡山大学 准教授】

子どもがそれぞれ遊んでいて、雰囲気落ち着いてきています。発達の流れが意識されつつあると思われま。

この調子で子ども理解を深めていけば、子どもと先生が共に暮らしを創る保育に発達していくのではないかと期待しています。